

## 芸術学部研究報告第25巻発刊によせて

渦中にあるものにとって、ものごとを定義付けるのは何時の時代においても、斯くも難しいことであつたらうか。

価値の多様化が云われている今日、芸術の世界も例外ではなく、むしろより多く複雑な様相を示している。

第25巻刊行にあたっての特別な編集方針も制限も設けられてはいない。いつも通り、発表者がそれぞれの立場と、それぞれの姿勢で共存していることを明日への活力とするからである。

とは言っても、距離をおいて、或いは、やがて我々自身が《来し方》を振り返ったとき、やはり学部としての集団の纏まりがあつてほしいと願っている。

25巻は一つの道標である。先ずここに一里塚をおいて、我々は歩みを続けるのみである。

1994年3月

芸術学部長

豊 福 孝 行